

—— 小室等 ——

音楽活動 60 周年記念特集上映

映画音楽 が 聴こえるとき

『沖縄 うりずんの雨・改訂版』／『しがらきから吹いてくる風』／『戦場ぬ止め』
『人間の街-大阪・被差別部落-』／『老人と海 ディレクターズカット版』／『ナージャの村』

2021.11.20_土~26_金

小室等の映画音楽に少しでもお手伝いさせてもらっています。
私はいつも言われたとおりにやれば OK でした。どうも彼はだれに何を
演奏させるか考え、当て込みで書いているらしい。だから、言われたと
おりに演奏すればよい。すると、とても気持ちが良い。ね、話は簡単
です。それは優れた映画音楽の作曲家の在り方だと思う。

—— 坂田明 (サクソ奏者) ——

ミュージシャン小室等の音楽活動 60 周年を記念して、多彩な活動のなかからドキュメンタリー映画の音楽づくりにスポットを当てた上映企画を開催します。

作品ごと、時に直感的に、時にじっくりと撮影地の音楽と向き合いながら、映画本編と共鳴するように紡がれた音楽。そんな小室等の音楽づくりを紐解く特集上映とライブの 7 日間です。映画から聴こえてくる音楽をじっくり体感ください。

主催：オフィス・キーズ、ポレポレ東中野

アフタートーク：

三上智恵 (監督) × 小室等

『戦場ぬ止み』

2015 年 / 129 分 / DCP

監督：三上智恵 / プロデューサー：橋本佳子、木下繁貴
撮影：大久保千津奈 / 監督補：桃原英樹 / 構成協力：松石泉
編集：青木孝文 / 音楽：小室等 / ナレーション：Cocco
製作：DOCUMENTARY JAPAN、東風、三上智恵



沖縄の怒りは臨界点を超えた。11 月の県知事選は保革を越えた島ぐるみ闘争に発展。「イデオロギーよりアイデンティティ」と新基地建設反対の翁長雄志氏が圧勝、続く衆院選でも民意を叩きつけた。しかし国策は止まらない。海上の抗議活動を屈強な「海猿」たちが排除していく。日々緊張を増す現場で負傷者や逮捕者が出る……。はたして今、沖縄で本当は何が起きているのか？

参加ミュージシャン

小室等 (A.Guitar)
坂田明 (A.Sax, Clarinet, B.Clarinet)
佐久間順平 (Guitar, Gut Guitar, Fretless Guitar, 12 Strings Guitar)
竹田裕美子 (Piano, Fender Rhodes, Keyboard, Accordion)
渡嘉敷祐一 (Drums)
向島ゆり子 (Andes25F, Violin)

小室等音楽コメント

記録映画「老人と海」で出てきた坂田明のサクソと、人権運動での定番曲「WE SHALL OVER COME」が欲しいと、三上智恵監督の事前の所望だった。監督の思惑通り、沖縄基地の悲しみと怒りと、海のジューゴンの優しさを、坂田明のサクソとバス・クラリネットが歌ってくれた。

11/22 (月)

『沖縄 うりずんの雨・改訂版』 2019 年 (原 版 2015 年) / 148 分 / DCP

監督：ジャン・ユンカーマン / 企画・製作：山上徹二郎 / 撮影：加藤孝信、東谷麗奈、Chuck France、Stephen McCarthy、Brett Wiley / 整音：若林大記
音響・効果：中村佳央 / 編集協力：大重裕二 / 音楽：小室等 / 製作：シグロ

私たちは沖縄のことを、どれくらい知っているのだろうか？ 1945 年 4 月 1 日、アメリカ軍が沖縄本島に上陸、12 週間に及ぶ沖縄地上戦では 4 人に 1 人の住民が亡くなった。当時同じ戦場向き合った元米兵、元日本兵、そして沖縄住民に取材を重ね、米国立公文書館所蔵の米軍による記録映像を交えて、沖縄戦の実情に迫る。



©2019 Siglo

参加ミュージシャン

鬼怒無月 (E.Guitar, A.Guitar)
小室等 (A.Guitar)
高良久美子 (Marimba, Vibraphone, etc...)
田中邦和 (S.Sax, T.Sax, B.Sax)
谷川賢作 (Piano, Synthesizer)

小室等音楽コメント

作曲と言うよりも、沖縄基地問題という不可解で理不尽な難問を、4 人の演奏家たちにぶつけただけだ。言葉だけでは間に合わない深い意味を、フリージャズ、現代音楽、4 人の演奏家たちは、4 人 4 様の音で応えてくれた。

11/20 (土)

アフタートーク：北岡賢剛 (元しがらき青年寮職員) × 小室等

『しがらきから吹いてくる風』 1990 年 / 91 分 / 16 mm (DVD 上映)

監督：西山正啓 / 製作：山上徹二郎 / 撮影：一之瀬正史、柳田義和 / 音楽：小室等 / ナレーター：渡辺篤史 / 製作：シグロ

タヌキの焼物で知られる窯業の里・信楽。この町を支えるのは、「知恵おくれ」と呼ばれる人びと。彼らは 106 人、町の全就労者の 5% を占めるといわれ、多くは小さな家内製陶所で働く。そんな彼らのほとんどが住む「信楽青年寮」にスタッフが 7 か月住み込んで、この映画は作られた。



©1990 シグロ

参加ミュージシャン

岡沢茂 (E.Bass)
小室等 (A.Guitar)
近藤都夫 (Percussion)
佐久間順平 (A.Guitar, F.Mandolin, Violin)
篠崎正嗣 (二胡)
菅原裕紀 (Percussion)
竹田裕美子 (Keyboard)
西沢幸彦 (Recorder, Flute)

小室等音楽コメント

1990 年当時、観光客が訪れる日曜日ともなると、町中で障がいを持った人たちと出くわさずには歩くのは不可能だった。その人たちは、休みの日に出歩く信楽青年寮の人たち。障がい者と町は共生していた。町にはいつもやわらかで平和な「風」が流れていた。障がい者と同じ視線を持つ優れた演奏家たちは、スクリーンの中でその「風」を吹かせていた。

11/21 (日)

アフタートーク：

山上徹二郎 (製作) ×

小室等 生演奏 with 八木のぶお (Harmonica)

『人間の街—大阪・被差別部落—』

1986 年 / 80 分 / 16mm (DVD 上映)

監督：小池征人 / 企画：同和対策審議会答申 20 年記念映画製作委員会
製作：山上徹二郎 / 撮影：一之瀬正史 / 音楽：小室等 / 製作：青林舎

この作品は、被差別部落の人々の様々な語りから、その差別の重さを感じさせる。いくつかの物語をつなぎ合わせて拾い集めた、人間のもつ輝き。障害者、水俣出身者、住宅要求闘争、解放運動、そして屠畜。屠畜技術者が小学校に向かい自分の仕事について子供たちに語りかける「誰れかが牛殺さな、たべてかれへんねん、肉たべられへんねん」って言えるくらいな、みんな子供になってほしいと思う。



©1986 青林舎

参加ミュージシャン

千野秀一 (Piano)
稲葉国光 (Wood Bass)
小室等 (A.Guitar)
白鳥英美子 (Voice)
竹田裕美子 (Keyboard)

中西俊博 (Violin)
林英哲 (和太鼓)
藤山明 (Pan Flute)
山口恭範 (Percussion)

小室等音楽コメント

屠場で、牛が苦しめぬように眉間に弾を打ち込むベテラン技術員。林英哲の打つ太鼓の音にあやめた牛の魂が甦る。エンディングの歌はラングストン・ヒューズの詩。ジャズの著書もある、アフロ・アメリカンの詩人ヒューズ。白鳥英美子のヴォイスはジャズでブルーギー、差別からの自由に応唱している。オープニング・ナンバー不思議な音色は、山口恭範がビブラフォーンを弓で擦っている。

テーマ曲

詩：ラングストン・ヒューズ「驚異の野原」(国文社刊)より
訳：斉藤忠利 作曲：小室等

11 月 24 日 (水) アフタートーク：ジャン・ユンカーマン (監督) × 小室等

『老人と海 ディレクターズカット版』

2010 年 (原 版 1990 年) / 98 分 / 35mm (BD 上映)

監督：ジャン・ユンカーマン / 企画・製作：山上徹二郎 / 撮影：清水良雄
録音：本間喜美雄、滝澤修 / 編集：市原啓子 / スチール：本橋成一 / 音楽：小室等 / 出演：糸数繁 / 製作：シグロ

与那国島——日本列島の南の入口に位置し、海上 120 キロの先に台湾が望める。東シナ海と太平洋に面し、激しい嵐が直撃することもあれば、一変して穏やかな鏡の海となることもある。この映画は、与那国でサバニを操りカジキを追う 82 才の漁師、糸数繁さんと島の人々の記録の物語である。

参加ミュージシャン

石川鷹彦 (A.Guitar, F.Mandolin)
川端民生 (Wood Bass)
木村誠 (Percussion)
小室等 (A.Guitar)
坂田明 (A.Sax, Clarinet, B.Clarinet)
佐藤彦彦 (Piano, Celesta, Synthesizer)
菅原裕紀 (Percussion)
竹田裕美子 (Keyboard)



©1990 シグロ 写真：本橋成一

小室等音楽コメント

佐藤彦彦、坂田明、二人のレジェンド下に参集した演奏家たちが、糸数じいちゃんの「海人魂」に寄り添った。特筆すべきは今ほけきベーススト川端民生。野太く、どこまでものびてゆくウッドベースの音は、紛れもなく「海人」の音だ。

11/24 (水)

11/26 (金)

毎日小室等によるビフォーアクトークあり

※アフタートークゲストはリモート登壇になる可能性があります。

アフタートーク & 生演奏：竹田裕美子 (Accordion) × 小室等

『ナージャの村』 1997 年 / 118 分 / 35mm (DCP 上映)

監督・企画・原案：本橋成一 / 製作：神谷さだ子、小松原時夫 / 撮影：一之瀬正史
録音：菊池信之 / 編集：佐藤真 / スチール：大西暢夫 / 音楽：小室等
ナレーション：小沢昭一 / 製作：ポレポレタイムス社

チェルノブイリ原発事故で汚染されたベラルーシのドゥチチ村。そこに故郷を離れず、汚染された村に残る 6 家族がいる。麦やじゃがいもを育て、きのこを採り、詩を口ずさむ。美しく厳しい自然とともに、大地に根ざして生きる彼らの暮らしは、豊かさとは何かということを私たちに教えてくれる。写真家・本橋成一の初監督作品。



参加ミュージシャン

小室等 (A.Guitar)
佐久間順平 (A.Guitar, Violin)
竹田裕美子 (Piano, Accordion)
田代耕一郎 (F.Mandolin, Kantele)
西沢幸彦 (Flute, Blockflöte)

小室等音楽コメント

1992 年、初めてのベラルーシ。僕より数日前に現地入りしていた、本橋成一と画家原浩 (2005 年没) が老夫婦二人で耕す農家へと誘う。夫婦は実に旨い自家製ウォッカ、「サマゴン」を振る舞ってくれた。竹田裕美子の奏でるアコーディオンは、「サマゴン」の酔い心地がする。

11/25 (木)

小室等 こむろ・ひとし

1961年高校3年の時、校内合唱団のメンバー小林雄二、利根川佳明ら3人と「キングストントリオ」スタイルのグループを結成。1968年グループ「六文銭」を結成。1971年第2回世界歌謡祭にて「出発の歌」(上條恒彦+六文銭)でグランプリを獲得。1975年泉谷しげる、井上陽水、吉田拓郎と「フォーライフレコード」を設立。2011年7月11日「音楽活動50周年ライブ〜復興〜」を全労済ホール スペース・ゼロにて行う。現在はソロやユニットでのライブ活動の他、イベントプロデュース、テレビドラマ・映画・舞台の音楽制作、ラジオパーソナリティ、ナレーション、連載コラムの執筆など活動は多岐にわたる。

上映スケジュール

11/20 (土)	『沖縄 うりずんの雨・改訂版』
11/21 (日)	『しがらきから吹いてくる風』 アフタートーク：北岡賢剛(元しがらき青年寮職員)×小室等
11/22 (月)	『戦場ぬしみ』 アフタートーク：三上智恵(監督)×小室等
11/23 (火祝)	『人間の街—大阪・被差別部落—』 アフタートーク：山上徹二郎(製作)×小室等 生演奏 with 八木のぶお(Harmonica)
11/24 (水)	『老人と海 ディレクターズ・カット版』 アフタートーク：ジャン・ユンカーマン(監督)×小室等
11/25 (木)	『ナージャの村』 アフタートーク & 生演奏：竹田裕美子(Accordion)×小室等
11/26 (金)	『老人と海 ディレクターズ・カット版』

連日 16:00 より上映

毎日小室等によるビフォートークあり ※アフタートークゲストはリモート登壇になる可能性があります。

一般：1,500円 学生・専門・シニア：1,200円 前日より当館窓口および当館サイトより購入できます。



ポレポレ東中野

03 3371 0088 pole2.co.jp
JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分
都営大江戸線A1出口より徒歩1分



ライブイベント at Space&Cafe ポレポレ坐

「フリー・ミュージックと映画」

11/20 (土)

小室等のみどころ

“沖縄 うりずんの雨” 音楽制作。日本から押し付けられたわけの分からない理不尽。沖縄の理不尽、生半可な音楽などで頭を悩ませるべくもない。ならばフリーミュージックだ。思い浮かんだのは、鬼怒無月、高良久美子、田中邦和、谷川賢作。ニキビ少年だった鬼怒は青春のプログレに揉まれ、高良はアカデミックの中で現代音楽に接近、田中はポスト・ビバップから海外へ武者修行、谷川は師事した佐藤允彦で世界を覗き、4人はそれぞれのフリーを身に纏った、と小室の私見。4人4様のフリーが沖縄の理不尽を頭を悩ませてくれた。今回は、田中邦和、谷川賢作に、理不尽からのフリーを無茶振りするつもり。

■出演：小室等 (vo, g) ■ゲスト：谷川賢作 (pf)、田中邦和 (sax)

【会場チケット】

- 日時：2021年11月20日(土)18:30 open / 19:00 start
- 会場チケット料金：予約 3,000円 / 当日 3,500円(ワンドリンク付)
- 会場参加予約先：03-3227-1445 Mail: za@pole2.co.jp

【配信チケット】

- 日時：2021年11月20日(土)18:50 open / 19:00 start
- 配信チケット料金：2,000円
- 購入はこちらから <https://teket.jp/1192/7596>
- ※アーカイブ視聴：12月12日(日)23時59分まで(購入期限：12月12日(日)19時00分)

配信チケット



「与那国とベラルーシ」

11/26 (金)

小室等のみどころ

本橋さんは、「老人と海」の制作前後の時期、頻繁に与那国を訪れ、ベラルーシも日本チェルノブイリ連帯基金に連動し、果ては映画も撮るほど、ベラルーシ通いを続けた。方や、与那国からの呼びかけに応じ与那国通いをした坂田さんは、毎年ヨーロッパ・ツアーを欠かさない。異国の土地での歩き方を二人から学ぶ。音楽の方は、与那国久部良中学プラスバンドと共演を果たした坂田明に、プラスバンドとの共演「イン・ザ・ムード」を再現。さらには、「老人と海」サウンドトラックの坂田さんの演奏と、今の坂田さんの生演奏と共演してもらう。

■出演：小室等 (vo, g)
■ゲスト：坂田明 (sax)、田中邦和 (sax)、本橋成一 (写真家・映画監督)

【会場チケット】

- 日時：2021年11月26日(金)18:30 open / 19:00 start
- 会場チケット料金：予約 3,000円 / 当日 3,500円(ワンドリンク付)
- 会場参加予約先：03-3227-1445 Mail: za@pole2.co.jp

【配信チケット】

- 日時：2021年11月26日(金)18:50 open / 19:00 start
- 配信チケット料金：2,000円
- 購入はこちらから <https://teket.jp/1192/7597>
- ※アーカイブ視聴：12月12日(日)23時59分まで(購入期限：12月12日(日)19時00分)

配信チケット

